

2020年 はなこみち スタート!

ついに 2020 年が始まりました。はなこみちでは、現在 29 名の子どもたちが生活しています。新たな時代を迎え、社会の変化も目まぐるしいですが、子どもたちが生きる将来を展望しながら次世代育成支援施設としての役目をしっかりと果たせるよう今後も努めてまいります。本年もよろしくお願いたします。

餅つき大会

昨年末の 12 月 28 日(土)に餅つき大会を行いました。玄関前に臼を置き、蒸した餅米を杵でつきました。このような昔ながらの餅つきを経験するのが初めての子もおり、慣れない手つきで大人でも重い杵を振り上げていました。幼児の子たちも職員のサポートを受けながら餅つきを楽しむことができました。その後、ついたお餅を使って鑑餅を作りました。できた鏡餅は各ユニット内にお供えとして飾り、冬休みの間お正月の雰囲気味わうことができました。この日は、衛生上の問題もあり臼と杵でついたお餅は食べませんでした。厨房で作ったお餅に調理師と他の職員で味付けをしたものを昼食にして各ユニットでいただきました。

普段お餅を食べることが少ないこともあり、子どもたちの食欲は旺盛でした。職員として餅つきを経験し、今回のような日本の伝統的な文化を子どもたちに伝え継承していくことも大切な役割だと感じました。



新規採用職員挨拶

昨年 12 月から新たに安藤佳奈子さんが職員としてはなこみちに入職しました。安藤職員にこれからの抱負について伺いましたので紹介します。



はじめまして。かぶらのユニットに配属になりました安藤佳奈子と申します。子どもたちや、先輩職員の皆様から日々学ばせていただいております。良い影響を与えることができる職員になれるよう努めていきたいと思っております。これからも、ご指導よろしくお願致します。



はなこみちクリスマス会

12月25日（水）に、多目的ホールではなこみちクリスマス会を開催しました。「お手伝いをする！」と申し出てくれた子どもたちが事前に室内をきれいに飾りつけし、クリスマスの雰囲気にも包まれながら会がスタートしました。子どもたちは、5つのゲーム（空き缶積み、ピンポン玉入れ、ボール入れ、トランプゲーム、ボーリング）のブースをまわり、各ブースの職員から説明を受けた後、ゲームを楽しみました。この日は、すべてのユニットの子どもたちが一堂に会して活動したので、多目的ホールは大にぎわいとなりました。その後、サンタクロースに扮した職員の進行によるビンゴ大会が行われました。ビンゴになった子どもから順に自分の好きな景品とカードを交換しました。軽井沢のおもちゃ王国に行った際にさまざまな種類のおもちゃをいただいたおかげで、子どもたちは自分の好きなものを選ぶことができました。ある幼児さんは、「お人形が2つもらえてうれしかった！」と言っていました。



初詣

年始に初詣を各ユニットで計画して、近辺の妻沼聖天山や金鑽大師等に行きました。年始ということもあり、参道には多くの参拝者が並んでいました。特に幼児さんは長蛇の列に並び続けるのが大変そうでしたが、屋台で買い物をしたり、おみくじを引いたりして子どもたちは十分楽しめたようです。はなこみちの子どもたちが1年間健康に生活できるよう祈願しました。



新たな旅立ちに向けて…

学校は3学期に入り、各学年のまとめをする時期になりました。高校生のなかには退所に向けて本格的に動き始めている子どももいます。職員も子どもたちの新たな旅立ちに向けて、会社の見学会に付き添ったり、一人暮らしのために必要な買い物や事務手続きの手伝いをしたりしてします。全体的に若い職員が多いはなこみち。どんなサポートをしていくべきか手探りの状態になることも多々ありますが、年齢が近いことを生かし、子どもたちに寄り添いながら自立支援を進めているところです。子どもたちが自信を持って新たな道に進めるよう努めています。



ユニット通信



そらまめ 保育士 米澤 亮太

寒い日が続いていますが、子ども達も職員も元気に外で遊んでいます。そらまめでは12月の半ばに新たな仲間が一人増えて、7人になり、より一層賑やかになりました。長い様で短い冬休みが始まり、計画的に宿題を進める子や後から頑張る子があり、職員もハラハラしながら見守っています。

12月25日には毎年恒例行事のクリスマス会が行われ、職員が行う各ゲームやビンゴ大会などを行いました。プレゼントを貰え嬉しそうな子どもたちの笑顔が今でも忘れられません。続けて28日にはお餅つき大会を行いました。重い杵を頑張って持つ姿がたくましく、微笑ましかったです。作り終わったお餅を使い、子ども達と一緒に形を整え鏡餅を作り各ユニットに飾りました。

新しい年度を間近に控え、そらまめでは退所に向けて準備を進める子や、新しい学年に上がる子、小学生から中学生に上がる子があり、慌ただしく準備を進めております。これからも日々の子どもの成長を見守っていききたいと思います。

もろこし 保育士 仲田 明日香

年末にはインフルエンザにかかった子がいないながらも、全員笑顔で新年を迎えることが出来ました。元旦に行った初詣では人の多さに驚きつつも、子どもたちそれぞれが思い思いの願い事を祈願していました。学校も再開し、長期休みのゆったりとした時間から普段の日常へと子どもたちの生活リズムも戻っていきました。

子どもたちの生活がより良いものとなるよう、今年も一層尽力していききたいと思います。

ぷちとまと 指導員 内田 真人

新年を迎え、ぷちとまとの子どもたちも気持ちを新たに生活スタートさせました。1月3日は初詣で、かぶらの人たちと一緒に妻沼聖天山へ行ってきました。参道に多くの屋台が並んでいたのので、さっそく施設長からもらったお年玉を使って出店の食べ物を購入する子もいました。年に一度の伝統行事をみんなで満喫できたのではないかと思います。

また、冬休み中は学校の宿題に熱心に取り組む姿が多く見られたこともよかったです。国語・算数などの教科以外に縄跳びなどをして体力づくりにも励んでいたのが印象的でした。宿題で課された新年の抱負では、「算数をがんばりたい」「部活の大会で勝ちたい」などそれぞれの思いが表現されていました。一人ひとりの願いが達成できるよう私たち職員も全力でサポートしてまいります。

かぶら 指導員 安藤 佳奈子

行事盛りだくさんの二学期が終わり、冬休みを各々満喫していたかぶらの子どもたちは、はなこみちのクリスマス会では、他ユニットの子どもたちや職員とも交流し、とても有意義な時間を過ごしていました。年末のユニット外出では、2チームに分かれて森林公園と足利フラワーパークへ、イルミネーションを観に出掛けてきました。普段観る事のできないカラフルなイルミネーションに目を輝かせ、好みの光の色について話を盛り上げていました。年始の初詣は寒い中、出店も多く並ぶ妻沼聖天山へ。お賽銭を握りしめて、長い参拝列に並びお願いごとを唱える姿はとても印象的でした。

インフルエンザや風邪などが大流行していますが、元気に過ごすことが出来るようサポートしていききたいと思います。

行事予定(1月・2月・3月)

| 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1日 元旦 | 3日 節分 | 1日 北辰(中2) |
| 8日 始業式 | 3日 家庭研修(高3) | 3日 公立高校面接 |
| 8日 措置後調査(中央) | 5日 リーダー会議 | 6日 リーダー会議 |
| 9日 人材確保委員会 | 6日 施設長県外研修(～7日) | 9日 公立高校入試発表 |
| 10日 リーダー会議 | 10日 人材確保委員会 | 10日 卒業式(妻沼高) |
| 13日 成人の日 | 11日 建国記念日 | 11日 運営会議 |
| 15日 運営会議 | 12日 運営会議 | 12日 給食最終(中3) |
| 15日 措置後調査(所沢) | 17日 施設長会議 | 14日 卒業式(中) |
| 16日 職員会議 | 17日 公立高校願書受付 | 19日 職員会議 |
| 17日 人材確保委員会 | 20日 職員会議 | 19日 卒園式(幼) |
| 17日 入学説明会(中) | 23日 天皇誕生日 | 20日 春分の日 |
| 23日 消防設備点検 | 24日 振替休日 | 23日 給食最終(小6) |
| 29日 施設長会議 | 28日 公立高校学力検査 | 24日 卒業式(小) |
| 31日 入学説明会(小) | | 26日 修了式(小中高) |

報恩感謝・善意の寄付

吉田文江 様
 徳間寛子 様
 橋本穂子 様
 全国シャンメリー協同組合 様
 埼玉県書店商業組合 様
 ヤクルトグループ 様
 毎日新聞東京社会事業団 様
 日本鏡餅組合 様
 ほっともっと 様
 (株) ティンク 様
 チュチュアンナ 様
 いちごアセット 様

暖かいご支援感謝致します

災害時避難場所を提供!

緊急時は避難所として地域に開放します

- ① 防災倉庫
- ② 備蓄食糧(1,000食)
- ③ テント(3張)・寝袋(10人分)
- ④ 地域交流センター解放
(スポーツ少年団・地域ボランティア団体等)
- ⑤ AED・チェーンソー等の機材
- ⑥ 非常用トイレキット(500回分)
- ⑦ 救命胴衣(大人用5個・子ども用5個)
- ⑧ 救命用浮き輪
- ⑨ 簡易エアマット(20人分)・簡易寝袋(20人分)
- ⑩ バーベキューセット(8台)



はなこみちでは毎月定期的に消火防災訓練を実施し、万に備えています。

ボランティアサークル花小路会員募集あなたも活動してみませんか

児童養護施設はなこみちを支援するボランティアサークルです。遊びや学習、生活支援などを中心に実施しています。お気軽にお電話ください。(048-574-3146)

編集後記

2020(令和2)年も幕を開けました。今年はオリンピックイヤーです。
 日本選手の活躍同様、子どもたちの活躍も期待しています。
 次号発行は4月末を予定しております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(広報担当)